

曜日時限 土曜10:45~12:15

受講料 10,500円

定員 30名

単位 1単位

概要 歴史的環境と鉄道の魅力満載の講座です。全国各地で歴史的集落や町並みを地域遺産として捉え、市民、行政、専門家、企業等が力を合わせて保全しています。これらを地域固有の宝としてまちづくりに生かす活動が盛んに行われています。結果、観光資源として地域活性化をもたらし、地域に活力を生んでいます。合言葉は「プライド・オブ・プレイス」。さあ、旅人になって地域力を体感しましょう。

講師 米山 淳一

地域遺産プロデューサー 公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事 一般社団法人日本茅葺文化協会理事 専門/歴史・観光まちづくり 元財団法人日本ナショナルトラスト事務局長。全国で観光資源の保存・活用プロジェクトを推進

テキスト プリントと地域直送の資料・パンフレットを毎回配付します

【参考図書】歴史鉄道 酔余の町並み (米山淳一著/駒草出版) 2,400円+税
続 歴史鉄道 酔余の町並み (米山淳一著/駒草出版) 2,500円+税
歩きたい歴史の町並 (米山淳一文/JTBパブリッシング) 1,700円+税

内容 5月19日~7月7日 (全5回)

- 5月19日 産業観光の先駆者・小坂町のダイナミズム(秋田県小坂町) 鉱山町の小坂は、明治期から発展しました。一時、生産量の減少や公害等で町は衰退しますが、鉱山関連の近代化遺産を観光資源として活用し、町は一気に甦りました
- 5月26日 光り輝く高岡の町並み(富山県高岡市・国重要伝統的建造物群保存地区) 加賀藩の城下町でしたが、一国一城令後は商業都市として発展します。鑄造の金屋町、北国街道沿いの山町筋と歴史的町並みは今も当時の繁栄を映しています
- 6月2日 飛騨古川と高山(岐阜県) 飛騨と言えば高山ですが、古川こそ飛騨の拠点と主張する人も多くいます。歴史と文化に裏打ちされた美しい二つの町、改めてその魅力に迫ります
- 6月9日 複眼都市「舞鶴の町並み」(京都府舞鶴市) 舞鶴市は二つの町が一緒になった複眼都市です。西舞鶴は近世の城下町、東舞鶴は近代の軍港都市。渋い歴史的町並みと帝国海軍の赤レンガ倉庫群をまちづくりに活用しています
- 7月7日 薩摩の麓集落「出水と知覧」(鹿児島県出水市、南九州市・国重要伝統的建造物群保存地区) 薩摩藩は幕府や敵国に対していつでも戦闘態勢に入れる麓集落を113か所設けていました。中世の山城の麓に整備された武家屋敷は壮観であり、薩摩藩の心意気を実感します



東舞鶴の赤レンガ倉庫群(京都府)